

防爆形スキャナ（無線式）

EXSC
EXGP

2018年8月
検定合格



型式検定合格番号/第 T70187号, 性能/d2G4

Bluetoothスキャナを防爆化 無線でバーコードを読み取り！ データ収集システムをより Easy に！

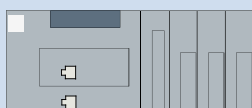
- USBキーボードインターフェイス/RS-232Cに対応
- 2次元コードにも対応
- EXGPの周囲 5 mの範囲でも読取り可

システム構成

安全場所

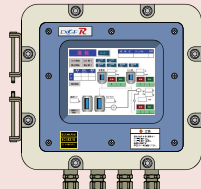
危険場所

各社PLC

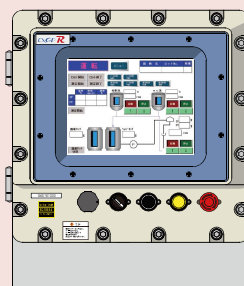


AC100V

7.5インチ
防爆形タッチパネル
EXGP-3400R



12.1インチ
防爆形タッチパネル
EXGP-3600R



防爆形スキャナ※
EXSC-QB



専用タッチペン
型式：US-PEN01



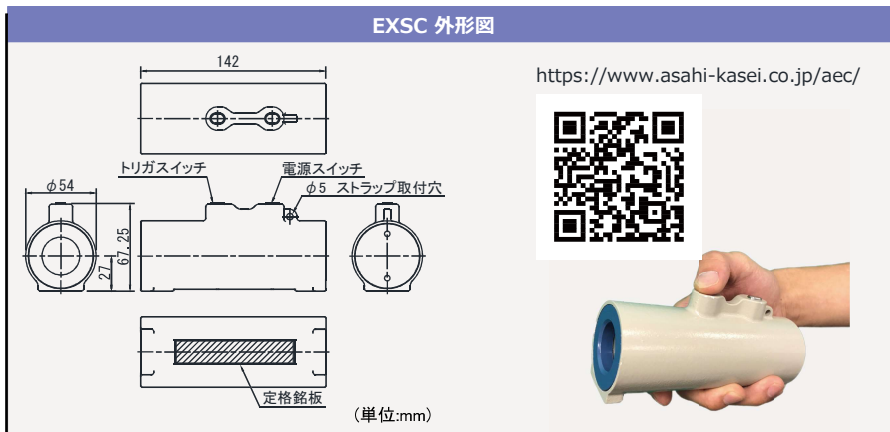
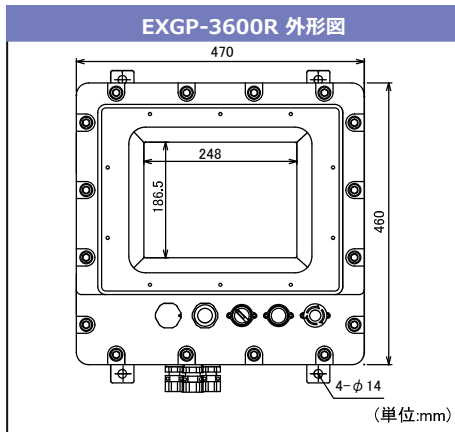
仕様

材質

タッチ部：NBR

Ethernetケーブル

※EXGPは、LAN、USB、COM1（RS-232C）、COM2（RS-422/485）を備えています。
USBキーボードインターフェイスの場合、USBを使用します。
RS-232Cインターフェイスの場合、USBとCOM1を使用します。



仕様

防爆形スキャナ仕様		
型式	EXSC-BB (1次元タイプ)	EXSC-QB (2次元タイプ)
防爆性能	d2G4	
電圧 電流	DC+3V 電流 0.4A	DC+3V 電流 0.6A
適合電池	LR6/1.5V 単3アルカリ乾電池2本	
Bluetooth	無線出力クラス2	
光源	赤色 LED 波長 615nm	赤色 LED 波長 640nm
外形寸法	φ54×142mm (突起部: H67 mm)	
材質: 塗装色	アルミニウム合金鋳物: 5Y7/1 半艶	
質量	約 600g	

スキャナ内器仕様	
読取りコード 1次元	EAN-13/8(JAN-13/8)、UPC-A/E、UPC/EAN、Interleaved 2 of 5(ITF)、CODABAR (NW-7)、CODE39、CODE93、CODE128、GS1-128 (EAN-128)、GS1 DataBar (RSS)
読取りコード 2次元	QRコード、マイクロQRコード、iQR、SQRC、PDF417、マイクロPDF417、DataMatrix(ECC200)、Aztec、EAN/UPC、GS1 DataBar Composite、Maxicode
通信方式	Bluetooth Ver.2.1
プロファイル	SPP、HID
動作時間 ※	1次元タイプ: 100時間、2次元タイプ: 50時間
動作温度範囲	0~40℃

注意事項・その他

- 1) 動作時間は5秒間に1回、コードを読み取った場合です。
- 2) EXSC導入前に、テスト機で検証することができます。お問い合わせください。
- 3) EXSCで読み取ったコードは、USB-KB入力となります。オプションでRS-232C入力にも変換できます。

No.	品名	型式	一般価格	備考
1	防爆形タッチパネル	EXGP-3600R	¥1,600,000-	12.1 インチ、タッチパネル
2	防爆形タッチパネル	EXGP-3400R	¥800,000-	7.5 インチ、タッチパネル
3	防爆形スキャナー (2次元タイプ)	EXSC-QB	¥600,000-	2次元コードリーダ、Bluetooth
4	タッチペン	US-PEN01	¥2,500-	
5	タッチペンホルダー (垂直用)	PEN-HLD21	¥5,000-	

proface.co.jp

EXGPシリーズの詳細情報はWebサイトをご覧ください。

www.proface.com/ja/product/hmi/exgp/top



シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社

製品に関するお問い合わせは、シュナイダーエレクトリック カスタマーケアセンターまで
平日 9:00~19:00 祝日(弊社指定の休業日を除く) 9:00~12:00、13:00~17:00

03-4578-4697

●ご使用前に必ずマニュアル、およびその他付属する書類をよくお読みください。●据付け・接続・保守は、必ず電気設備の施工法、関連法規などを熟知し、かつ適切な技能を有する方が行うようにしてください。これらを守らずに使用した結果、人命に関わる重傷や機器の損傷、その他いかなる結果が生じても弊社は一切の責任を負わないものとします。●掲載した内容は、製品改良のため予告なく変更する場合がございます。

ご用命は…

EXGPシリーズは旭化成エンジニアリング株式会社、シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社、株式会社宮木電機製作所の共同開発によるものです。